

---

# 踊る勇者に歌う僕

浮月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

踊る勇者に歌う僕

### 【Nコード】

N1261BA

### 【作者名】

浮月

### 【あらすじ】

異世界転生ゲーム物。ノリとヤケ100パーセントの小説。くすつと笑ってくれたら大満足です。

思いつき不定期更新小説。続くかは不明。

感想が書かれるとやる気がでるかも……

僕は常日頃、運もしくはラックというものの扱いが酷いんじゃないか、としきりに思う。

例えば、RPG。主人公キャラの初期に振り分けられるポイントをそれに使う人は少ない。

周知の事実だと思うが、それをすると自分のキャラクターが弱くなるからだ。

他の能力に振り分けられなくなるから、当然、といったらそれまで。

……のだが、性格にまでも影響するのはどうなんだ？

某有名作品の“幸せ者”やら“世間知らず”やら“お嬢様”なんて性格のパラメーターには悪意すら感じる。

いや、確かに妬ましさは否定出来ないけど。特に、ラノベとかにおける3鉄則、諸々の関係で（義妹とか幼なじみだとか）美少女に絡まれる、変な個性（容姿とか能力とか）を持っている、異世界ヘトリップ！なんて奴がいたら撲殺している。

ああ、話がそれたね。

まあ、とにかくリアルラックが僕は欲しい、いや、欲しかった。

とにかく、小便器に顔を突っ込みながら溺死、しかも事故死とかいうバッドエンドに終わるくらいなら自殺させて欲しかった。

もつとも、そのお陰で快樂主義の神様ですら看過できなくて、なんと異世界で生活させて頂く事となった。

しかも、赤ちゃんからのやり直し、記憶引き継ぎ+能力値に弄りを入れて。

ヒヤッホー。じゃ、ラックをよくして〜！

そんなことを言っていたら、本当にラックだけをよくしてくれた。

まあ、そんなわけで今、僕は産まれようとしているわけだけど。

高梨	雄大
種族	人間 <sup>ヒューマン</sup>
年齢	0
利き腕	右利き
魔法適正一	なし
魔法適正二	なし
魔法適正三	なし
職業一	遊び人
職業二	
職業三	
職業四	
職業五	
特性	“度胸”
HP	5 / 5
MP	6 / 6
体力	2
筋力	3
耐性	3
早さ	6
機転	5
素質	??
運	1 5 6
武器	卓越された頭脳
防具	精神の壁
備考	『根性』 『気合』 『忍耐』 『我慢』

前言撤回はしない。なんたって、運勢はよい方がいいからな。

ああ、幸運という能力があったら欲しいさ！欲しいけどさ！だからといって、他の能力がパーでいい……訳がないだろ！しかも、武器防具が嫌がらせだとしか思えない！なんなの？卓越された頭脳、って！

機転5の遊び人の武器か、それ？！絶対（笑）だろ！

精神の壁も僕に何があつたのっ？！って突っ込みたいし！

その割にはMPよえええ！すぐにこの防具壊れ……いえ、碎けますよ？！

あ、そつか！特殊能力『気合』『我慢』『忍耐』『根性』で切り抜けるんだ。

よかった、よかった。これもラックの賜物だね……ってなんで同じようなの4つなの？

既に未来を軽く暗示されているような気がするんだけど？！

結論、どこにいつても不幸な奴は不幸。例え、運が高くても変わらないらしい。

運の能力値、不確定要素が多すぎるよ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1261ba/>

---

踊る勇者に歌う僕

2012年1月3日01時50分発行